

病院概要

- 病院長名： 加藤 秀則
- 住 所： 〒003-0804 北海道札幌市白石区菊水4条2丁目3-54
- T E L： 011-811-9111
- F A X： 011-832-0652
- U R L： <https://hokkaido-cc.hosp.go.jp/>

診療科・医師数														2020年1月1日現在						
内	呼内	消内	循内	神内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔	初期	後期	計
6	7	3				3	4	1				3		3	1	9	7			
泌	リハ	アレ	精神	救急	婦人	緩和	乳外	病理	血内	形成	感染	介	計					4	4	
5					7	3	7	4	3	1	1	9	84							

病床数(医療法病床数)								2020年1月1日現在	
一般	重症心身障害	脳卒中リハ	結核	精神	感染症	療養	計		
430							430		

- 1日平均患者数：【外 来】638.6件／【入 院】307.4件 (2018年度)
- 年間救急患者数：564.0件(救急車搬送数：1件/年間) (2018年度)
- 電子カルテシステム：有

研修体制

- 指導医数：1名 (2020年1月1日現在)
- 臨床病理検討会(CPC)の実施状況：1回(2018年度)／剖検数：1件(2018年度)
- 学会・研修会への参加費用：支給有り(発表者のみ)
- 給与(参考) ※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修(専攻医等)
1年次	400,000 円/月	500,000 円/月
2年次	400,000 円/月	500,000 円/月
3年次	—	500,000 円/月

- 当 直：【初期研修】4回/月平均 【専門研修】4回/月平均
- 各種保険：健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
- 宿舍・住宅：有
- 院内保育所：有
- その他：有給休暇有(20日/年)、賞与有(2.6月分)

研修概要

初期研修

- 基幹型病院名：札幌医科大学附属病院、北海道医療センター、旭川医療センター
- 当院での研修領域：血液内科、消化器内科、呼吸器内科、病理診断科、放射線科等
- プログラムの特徴：当院では各科の基礎的知識や技術に加え、がんの診断治療の基本から最先端の知識技術まで幅広く研修することができます。

専門研修

- 研修の特徴
連携施設として、北海道大学病院・札幌医科大学附属病院・旭川医科大学病院・北海道医療センターなどの基幹病院と連携として取り組んでいます。
【基本領域名】：内科・外科・整形外科・耳鼻咽喉科・放射線科・麻酔科・病理・形成外科
- 処遇
現在の後期研修と同程度
- プログラム統括責任者名：教育研修部長 平賀 博明

病院PR



当院では、卒業後の医師が当院の理念・基本方針に則り、プライマリーケアから専門を目指す医師となるための基本的な知識と技術を習得することができます。当院は、北海道におけるがん診療の中心病院で、平成21年4月にがん診療拠点病院の中でも各都道府県での中心的な施設である「都道府県がん診療連携拠点病院」の指定を受けるとともに、全国がんセンター協議会に加盟するなど、全科においてがん診断治療の向上と臨床研究の推進に取り組んでいます。医師としての基礎的知識や技術に加え、がん治療の基本から最先端まで幅広く研修できる点が当院の最大の魅力です。

■ 専門医資格関連情報(2020年1月1日現在)

日本内科学会認定内科専門医教育病院、日本外科学会認定医制度修練施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、日本呼吸器外科学会専門医制度関連施設、日本血液学会認定医研修施設、日本整形外科学会認定医研修施設、日本医学放射線学会専門医修練機関、日本麻酔学会指導病院、日本臨床腫瘍学会認定研修施設ほか

研修担当

当院は、国立がん研究センターを中心としたがん拠点病院等で構成するがん情報ネットワークに参加し、年間100回以上開催される様々なカンファレンスやセミナーから、がん治療等の最新情報を得ることで、職員の知識と技術の向上に努めています。がんは我が国の死因の第1位で、厚労省もがん患者を含めた国民が、がんを知り、がん向き合い、がんに負けることのない社会の実現を目指すことを目標としています。当院では各科の基礎的知識や技術に加え、がんの診断治療の基本から最先端の知識技術まで幅広く研修することができますので、今後医師として活躍する礎になると確信しています。



お申込み・お問い合わせ

- 照会窓口：事務部管理課 職員班長
- 担当医師：教育研修部長 平賀 博明
- T E L：011(811)9111
- E - m a i l：100-mb10kar2@mail.hosp.go.jp
- 病院見学：随時受付

トピックス



当院は現在全面建替整備工事中です。平成32年10月新病院開院、平成33年8月グランドオープンの予定です。北海道内のがん医療の中心的施設として、関係機関との連携の下に、高度で専門的な医療、臨床研究、教育研修及び情報発信の機能を備えるとともに、がん患者の高齢化により併発する循環器病、糖尿病などの「生活習慣病」に関する専門的な医療等の機能を備えた施設として整備します。

病院概要

- 病院長名： 菊地 誠志
- 住 所： 〒063-0005 札幌市西区山の手5条7丁目1-1
- T E L： 011-611-8111
- F A X： 011-611-5820
- U R L： <https://hokkaido-mc.hosp.go.jp/>

診療科・医師数 2020年1月1日現在

内	呼内	消内	循内	神内	腎臓	糖尿	カマ	外	呼外	心外	脳外	小児	産婦	整外	形外	眼	耳鼻
1	4	9	9	7	3	1	2	6	1	3	3	4	4	5	1	2	3
皮膚	放	麻	泌	リハ	精神	救急	病理	他									
2	1	5	1	1	4	6	1	1								12	12
														計	初期	後期	計
														90			

病床数(医療法病床数) 2020年1月1日現在

一般	重症心身障害	認知症	結核	精神	感染症	療養	計
410			50	40			500

- 1日平均患者数：【外来】571.5件／【入院】361.4件 (2018年度)
- 年間救急患者数：5,134.0件(救急車搬送数：3,108.0件/年間) (2018年度)
- 電子カルテシステム：有

研修体制

- 指導医数：49名 2020年1月1日現在
- 臨床病理検討会(CPC)の実施状況：3回(2018年度)／剖検数：3件(2018年度)
- 学会・研修会への参加費用：支給有り(発表者のみ)
- 給与(参考) ※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修(専攻医等)
1年次	400,000 円/月	530,000 円/月
2年次	420,000 円/月	550,000 円/月
3年次	—	570,000 円/月

- 当 直：【初期研修】4回/月平均 【専門研修】4回/月平均
- 各種保険：健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
- 宿舍・住宅：無
- 院内保育所：有

研修概要

初期研修

- 研修の特徴
141病院ある当機構のネットワークを生かし、急性期から慢性期、プライマリ、専門・先進医療まで幅広い知識を習得することができ、研修後のキャリアプランも充実していることから、有意義な初期研修で医師としてのスタートを切ることができます。

- 募集人数：8名
- 試験日程：2020年8月中旬～下旬予定
- 修了後の進路：当院後期研修医、大学院他
- 研修スケジュール：スケジュール例

	1～4週	5～8週	9～12週	11～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
1年次(例)	内科				小児科		麻酔科		救急科		内科		外科
2年次(例)	救急科	精神科	地域医療	自由選択	産婦人科	選択期間							

専門研修

■ 専門研修プログラム(基幹)

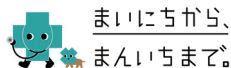
基本領域名(プログラム名)	定員
国立病院機構北海道医療センター内科専門研修プログラム	2名
国立病院機構北海道医療センター救急科専門研修プログラム	2名

- 専門研修プログラム(連携)
北海道大学病院内科専門研修プログラム
旭川医科大学内科専門医研修プログラム
市立札幌病院内科専門医研修プログラム

- 研修の特徴
当院の専門性の高い医療環境のもと、基本的診療技能に基づきより専門的な診療技術とそれに相応しい知識と経験を積み、専門医資格の取得をめざします。

- 処遇
身分は非常勤医です。研修期間は原則3年です。将来は、診療科の状況と実績によりスタッフへの道も開かれます。

- プログラム統括責任者名：臨床教育研修部長 新野正明(初期臨床研修)
副臨床教育研修部長 加藤雅彦(内科専門研修)
副臨床教育研修部長 七戸康夫(救急科専門研修)



病院PR

- 1.急性期から慢性期まで全ての医療ニーズに対応するハイブリッド病院
- 2.成育、免疫、神経・筋などの基幹医療施設
- 3.がん、循環器病疾患、呼吸器疾患などの政策医療
- 4.災害拠点病院、結核指定医療機関
- 5.札幌市西区、三次救命救急医療機関
- 6.精神科身体合併症の診療
- 7.日本医療機能評価機構認定施設(3rdG: Ver2.0)
- 8.神経・筋疾患、成育医療、免疫異常の臨床研究
- 9.頻回なヒアリングにて柔軟なプログラム設定
- 10.全国の国立病院機構病院のネットワークを活かした様々なセミナー参加
- 11.勉強会、講演会、抄読会、カンファ、症例検討会等多数有り

■ 専門医資格関連情報(2020年1月1日現在)

日本内科学会教育関連病院、日本呼吸器学会認定施設、日本消化器病学会認定施設、日本循環器学会専門医研修施設、日本神経学会教育施設、日本小児科学会専門医制度研修認定施設、日本外科学会認定医制度修練施設、日本呼吸器外科学会専門医合同委員会認定修練施設、日本整形外科学会専門医研修施設、日本透析医学会認定関連施設、日本糖尿病学会認定教育施設、日本皮膚科学会研修施設、日本泌尿器科学会教育関連施設、日本精神神経学会認定施設、日本総合病院精神医学会電気けいれん療法研修施設、日本病理学会研修登録施設、日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科専門医基幹研修施設 ほか

研修担当

■ 臨床教育研修部長 新野 正明

当院は3次救急と各専門急性期医療の他、神経・筋疾患、結核医療なども行っている、札幌市西区のハイブリッド型病院です。このため、急性期から慢性期まで幅広い症例の研修ができます。当院の初期研修医募集人数は8名/年であるため、研修医同士の横及び縦の連携から学ぶものも多いと思います。当院での初期研修終了後の後期研修は、道内はもとより全国の国立病院機構のネットワークを利用して、様々なキャリアパスが描けます。都市部にありながら、近くには三角山などの緑も多く、抜群の環境を提供できると思います。このような環境での充実した初期研修生活は如何でしょうか？



お申込み・お問い合わせ

- 照会窓口：事務部管理課職員班長
- 担当医師：臨床研修管理委員長(臨床研究部長) 新野 正明
- T E L：011-611-8111
- E - m a i l：101-syokuinhancho@mail.hosp.go.jp
- 病院見学：随時受付

トピックス

■ 救急科医長 塚本 祐己

当院は多彩な診療科による幅広い研修と、全科横断的に行われるレクチャー・症例発表を行っています。救急当直では、札幌市内3次救急医療機関5施設の1つである救命救急センターにおいて、指導医のもと、初期研修医主体の診療を目指します。2年後飛躍的に成長した自分を実感できるはずですよ。

■ 初期臨床研修医 佐々木 耕

当院は診療科が多く、柔軟に研修プログラムを考えることができます。ローテーション中に多くの症例を経験できるので、自ら考えて診療する能力が身に付きます。指導医の先生方も教育熱心であるので、治療方針の相談に快く乗ってくださるほか、手技を行う際にも丁寧な指導が受けられます。



病院概要

- 病院長名：加藤 元嗣
- 住 所：〒041-8512 函館市川原町18番16号
- T E L：0138-51-6281
- F A X：0138-51-6288
- U R L：http://hnh-hosp.jp/

診療科・医師数													2020年1月1日現在						
内	呼吸	消化	循環	泌尿	神経	外	呼吸	消化	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔	
	4	4	5			8	1		1							1	1		
泌	リハ	アレ	精神	救急	他											計	初期	後期	計
1				3												29	3		3

病床数(医療法病床数)							2020年1月1日現在	
一般	重症心身障害	膨/ス/ロ/フ/ー	結核	精神	感染症	療養	計	
300			5				305	

- 1日平均患者数：【外 来】302.8件／【入 院】225.9件 (2018年度)
- 年間救急患者数：2,055.0件(救急車搬送数：895.0件/年間) (2018年度)
- 電子カルテシステム：有

研修体制

- 指導医数：18名 (2020年1月1日現在)
- 臨床病理検討会(CPC)の実施状況：3回(2018年度)／剖検数：1件(2018年度)
- 学会・研修会への参加費用：支給有り(発表者のみ)
- 給与(参考) ※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修(専攻医等)
1年次	420,000 円/月	500,000 円/月
2年次	440,000 円/月	500,000 円/月
3年次	—	500,000 円/月

- 当 直：【初期研修】3回/月平均 【専門研修】3回/月平均
- 各種保険：健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
- 宿舍・住宅：有(月額13,300円)
- 院内保育所：有
- その他：勉強会、講演会、抄読会、カンファ、症例検討会等多数有り

研修概要

初期研修

- 研修の特徴
多彩な診療機能を体験し、研修医の方の希望に沿った研修を提供することができ、全ての初期研修医がプライマリーケアを中心に幅広く医師として必要な診断能力を身につけて、人格を滋養することを目的としています。

- 募集人数：5名
- 試験日程：2019年8月中旬～随時
- 修了後の進路：当院後期研修医、大学病院、その他
- 研修スケジュール：

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内 科						自由 選択	外 科		救 急		
2年次	自由選択(必修選択を含む) ※連携施設での研修可能			地 域	自由選択(必修選択を含む) ※連携施設での研修可能			自由選択(当院) (必修選択を含む)				

専門研修

■ 専門研修プログラム(基幹)

基本領域名(プログラム名)	定員
呼吸器内科各コース	1名
循環器科各コース	1名
消化器科各コース	1名
外科各コース	1名

- 研修の特徴
従来の後期研修とともに、新専門医制度では北海道大学病院、北海道医療センター、旭川医療センター、仙台医療センターの連携施設として登録

- 処遇
現在の後期研修と同程度の予定
- プログラム統括責任者名：院長 加藤 元嗣

病院PR



- ①道南地区におけるがん医療に力を入れています。がん疾患の診療においては消化器科、内科、外科そして放射線科が協力して診断治療を総合的に行っています。
- ②北海道地方循環器病センター・循環器病基幹医療施設として、循環器内科、心臓血管外科にて循環器病、心臓疾患の診断治療、そして臨床研究の中核病院として全国とネットワークを結んでいます。
- ③呼吸器疾患の政策医療ネットワークの専門医療施設として治療診断、臨床研究を行っています。
- ④病理医2名(うち非常勤職員1人)で病理診断を全般を行っている、中でも腫瘍全般と内分泌疾患を得意としております。
- ⑤臨床研究部が設置され、国立病院機構ネットワークを協同で臨床研究を行っています。
- ⑥消化器内科では、内視鏡検査、治療やピロリ菌、炎症性腸疾患などの分野で学会をリードしている医師が担当します。

■ 専門医資格関連情報(2020年1月1日現在)

各学会認定医、専門医の取得が可能
 がん診療連携拠点病院、内科学会、呼吸器学会、呼吸器内視鏡学会、消化器病学会、循環器学会専門医、外科学会、外科学会専門医、心血管インターベンション学会、臨床腫瘍学会、胸部外科学会、呼吸器外科学会専門医、呼吸器外科学会指導医、呼吸器外科専門医、消化器外科学会専門医、麻酔科学会、ペインクリニック学会、放射線腫瘍学会、マンモグラフィ検診、がん治療認定医、食道学会食道外科専門医

研修担当

■ 副院長 米澤 一也

ひとりひとりの研修医に対して、各自の要望を取り入れながら、マンツーマンに近い形で指導いたします。研修医時代には将来進もうとする分野を体験しておくことはもちろん有意義ですが、それ以上に各科での研修がその後の大きな宝になると思います。病院全体として研修をサポートする環境にあり、指導医にとっても研修医との関わりは大きな財産になりますので、ぜひ色々なことに興味を持って色々なディスカッションをしながら、知識と考える力を蓄えて頂きたいと思っております。



お申込み・お問い合わせ

- 照会窓口：事務部 管理課
- 担当医師：副院長 米澤 一也
- T E L：0138-51-6281
- E - m a i l：yonezawa.kazuya.td@mail.hosp.go.jp
- 病院見学：随時受付

トピックス



当院での研修のメリットは研修医が少人数故に非常に自由度の高い研修を行えることです。中規模病院であることからcommon diseaseを含めた豊富な症例を経験することができ、各科の上級医やメディカルの方々からのサポートも手厚く、知識・手技を習得する機会に恵まれています。また、国立病院機構主催のセミナーは非常に内容が充実しており、スキルアップを図るだけでなく他院の先生との情報交換の場としても良い機会になります。大病院とは一味違った魅力を持つこの病院で研修生活を送ってみたいかがでしょうか。

病院概要

- 病院長名： 西村 英夫
- 住 所： 〒070-8644 北海道旭川市花咲町7丁目4048番地
- T E L： 0166-51-3161
- F A X： 0166-53-9184
- U R L： <https://asahikawa.hosp.go.jp/>

2020年1月1日現在

診療科・医師数																	
内	呼内	消内	循内	神内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
2	8	5	1	8	4					1						1	1
泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	他										計	計
																32	4 1 5

2020年1月1日現在

病床数(医療法病床数)							計
一般	重症心身障害	認知症	結核	精神	感染症	療養	
250		40	20				310

- 1日平均患者数：【外 来】316.2件／【入 院】225.6件 (2018年度)
- 年間救急患者数：1,260.0件(救急車搬送数：866.0件/年間) (2018年度)
- 電子カルテシステム：有

研修体制

- 指導医数：16名 (2020年1月1日現在)
- 臨床病理検討会(CPC)の実施状況：1回(2018年度)／剖検数：2件(2018年度)
- 学会・研修会への参加費用：支給有り(発表者のみ)
- 給与(参考) ※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修(専攻医等)
1年次	520,000 円/月	570,000 円/月
2年次	550,000 円/月	610,000 円/月
3年次	—	670,000 円/月

- 当 直：【初期研修】2回/月平均 【専門研修】2回/月平均
- 各種保険：健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
- 宿舎・住宅：有(単身用借上宿舎を格安で提供)
- 院内保育所：有
- その他：勉強会、講演会、抄読会、カンファ、症例検討会等多数有り

研修概要

初期研修

- 研修の特徴
病床数は310床と中規模であり、常勤医も30名と少ないですが、その分研修医と指導医、上級医、院長との間の断絶はなく、非常に風通しのよい病院であり、研修に充分専念できます。
- 募集人数：5名
- 試験日程：随時(マッチング参加)
- 修了後の進路：当院後期研修医、旭川医科大学病院等
- 研修スケジュール：

	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週
1年次	内科						外科	救急・麻酔	小児科	自由選択			
2年次	産婦人科	精神科	地域医療	自由選択									

専門研修

- 専門研修プログラム(基幹)

基本領域名(プログラム名)	定員
旭川医療センター内科専門研修プログラム	3名
旭川医療センター総合診療専門研修プログラム	2名

- 専門研修プログラム(連携)

基本領域名(プログラム名)
旭川医科大学内科専門医研修プログラム
旭川医科大学外科専門医研修プログラム
旭川医科大学放射線科専門医研修プログラム
旭川医科大学麻酔科専門医研修プログラム
旭川医科大学病理専門医研修プログラム
市立旭川病院内科専門医研修プログラム
札幌医科大学総合診療専門研修プログラム

- 研修の特徴
急性期および慢性疾患について、入院から退院まで経時的に診断・治療に関わることが出来ます。さらに看取りを含めた訪問診療にも携わることで、全人的医療を経験することが出来ます。将来専攻する専門研修(呼吸器疾患・消化器疾患・膠原病疾患・神経疾患)も可能です。
- 処遇
身分は期間職員です。研修期間は原則3年です。将来は、診療科の状況と実績により常勤職員への道も開かれます。
- プログラム統括責任者名： 副院長 木村 隆



病院PR

当院は、全国機構病院141施設の中の日本最北に位置する病院です。道北・道東地域を中心に多くの患者が当院を訪れます。また、当院は旭川市東北部の市勢伸張が著しい地域に位置し、良好なアクセスを生かして地域での中心的な医療機関となっています。さらに、呼吸器疾患、脳神経内科疾患、消化器疾患、循環器疾患、代謝リウマチ疾患を中心に、地域医療および道北地区での専門医療を担っています。急性期医療をはじめとして、数ヶ月から数年にわたる慢性期医療まで幅広くカバーしており、地域における急性期医療の中核的医療施設をめざす、活気あふれた病院です。また、病床数は310床と中規模であり、常勤医師も30名と少ないですが、その分研修医と指導医、上級医、院長との間に断絶はなく、風通しのよい病院です。待遇等は国立病院機構としては破格ですが、研修に充分に専念できるようにしています。研修医の皆さん自身がプログラムを作成できる研修システムです。是非、当院の研修医の研修医による研修医のための研修で学んでみませんか。

- 専門医資格関連情報(2020年1月1日現在)
- 日本内科学会教育関連施設、日本呼吸器学会認定施設、日本呼吸器内視鏡学会認定施設、日本神経学会認定施設、日本外科学会専門医制度関連施設、日本消化器病学会関連施設、日本病理学会登録施設、日本臨床細胞学会認定施設、日本臨床腫瘍学会認定施設、日本アレルギー学会準教育施設、日本リウマチ学会教育施設、日本肝臓学会認定施設、日本認知症学会教育施設、日本臨床神経生理学会認定施設 他

研修担当

- 臨床教育研修部長 黒田 健司
- 当院では、“Postgraduate medical education of the resident, by the resident, for the resident”を実践するため、多くの指導医により構築された研修体制の中で、研修医は主治医として診断から治療まで一連の研修を自ら考え実践しています。さらに、当院の特徴である多彩な症例や豊富な検査を通して、経験できる研修・学べる研修を目指して、多くの手技と知識を経験してもらうよう取り組んでいます。また、東京医療センターなどへの国内留学も積極的に取り入れ、より高度な医療を習得できるよう工夫しています。研修医の皆さん自身がプログラムを作成できる研修システムです。是非、当院の研修医の研修医による研修医のための初期研修で学んでみませんか。



お申込み・お問い合わせ

- 照会窓口：事務部管理課 庶務班長
- 担当医師：臨床教育研修部長 黒田 健司
- T E L：0166-51-3161
- E - m a i l：103-syomu-h@mail.hosp.go.jp
- 病院見学：随時受付

トピックス

- 研修医
約一年間研修して思う事は、初期研修医に対して手厚い病院であるという事です。当院でローテーションできる科は市内の初期研修可能な病院と比較して少ないですが、その代わりに救急科や産婦人科などを市内の他病院や同じ国立病院機構である北海道医療センターや東京医療センターで研修することが可能です。各科に特化した他病院で研修する事ができる事は当院の初期研修の大きな利点であると考えています。院内研修については、当院は研修医の数がそれほど多くないため手技や症例を経験する機会に他の大規模病院より恵まれていると思います。病院自体があまり大きくないためメデイカルなどの他のスタッフとの距離も近く、とても働きやすい病院だと感じています。2020年からは病院も新しくなり、より快適な環境での研修が可能になります。初期研修に求める事は各人で異なると思いますが、少しでも興味があれば病院見学に来ていただくと嬉しいです。



病院概要

- 病院長名： 本間 裕士
- 住 所： 〒080-8518 北海道帯広市西18条北2丁目16番地
- T E L： 0155-33-3155
- F A X： 0155-33-3397
- U R L： <http://www.obihiro-hosp.org/>

診療科・医師数													2020年1月1日現在				
内	呼内	消内	循環	神内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
1		2	1			2			5								2
泌	リハ	アレ	精神	救急	他												
			4														17
																	計
																	初期
																	後期
																	計

病床数(医療法病床数)							2020年1月1日現在	
一般	重症心身障害	脳卒中リハ	結核	精神	感染症	療養		計
119	120		14	100				353

- 1日平均患者数：【外 来】227.2件／【入 院】252.7件 (2018年度)
- 年間救急患者数：910.0件(救急車搬送数：460.0件/年間) (2018年度)
- 電子カルテシステム：有

研修体制

- 指導医数：4名 (2020年1月1日現在)
- 臨床病理検討会(CPC)の実施状況：0回(2018年度)／剖検数：0件(2018年度)
- 学会・研修会への参加費用：支給有り(発表者のみ)
- 給与(参考) ※当直手当等は別途支給

	初期研修		専門研修(専攻医等)	
1年次		円/月	375,000	円/月
2年次	363,000	円/月	384,000	円/月
3年次	-		395,000	円/月

- 当 直：【初期研修】4回/月平均 【専門研修】4回/月平均
- 各種保険：健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
- 宿舍・住宅：有
- 院内保育所：有

研修概要

初期研修

- 基幹型病院名：旭川医科大学病院、北海道医療センター、旭川医療センター
- 当院での研修領域：循環器内科、精神科、呼吸器外科、心臓血管外科
- プログラムの特徴：
基幹型病院のプログラムに沿って、循環器内科、心臓血管外科を含む胸部外科、精神科の分野において、積極的に医師の受入を行っています。
研修指導は各科の指導医・専門医が対応します。
また、旭川医科大学夏季休暇中の実習生受入にも対応します。

専門研修

■ 専門研修プログラム(連携)

基本領域名(プログラム名)	定員
内科(国立病院機構北海道医療センター内科専門研修プログラム)	
外科(札幌医科大学外科専門研修プログラム)	
麻酔科(旭川医科大学麻酔科専門研修プログラム)	
精神科(北海道大病院連携施設精神科専門医研修プログラム)	

病院PR

- 当院の特色は、
- 1)循環器疾患、精神疾患に関する専門医療
 - 2)呼吸器疾患(結核を含む)に関する専門医療
 - 3)重症心身障害児(者)に対する専門医療
 - 4)救急告示病院
 - 5)開心術、ステントグラフト治療など高度医療の提供
 - 6)結核病床を持ち、精神疾患併発患者の治療が可能
 - 7)医師のほか医療従事者養成の実習施設

■ 専門医資格関連情報(2020年1月1日現在)

循環器専門医研修施設、心臓血管外科専門医認定基幹施設、呼吸器外科専門医認定基幹施設、外科専門医制度修練施設、麻酔科学会認定病院、精神科専門医研修施設、がん治療認定医機構認定研修施設、不整脈専門医研修施設、日本ステントグラフト実施基準管理委員会協力実施施設

研修担当

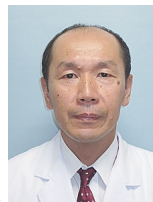
■ 院長 本間 裕士

当院は十勝平野の中央、帯広市に位置し、医療圏対象人口は35万人余となっております。

循環器内科・同外科領域、呼吸器外科領域、精神科の専門的医療と重症心身障害児(者)医療を展開しています。

地方都市であっても大都市と同じ医療レベルを維持すべく、学会等にも積極的に参加し、日々研鑽しています。

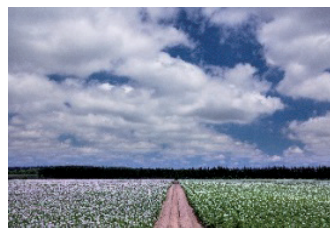
研修医の皆さんの要望に充分応えられるようスタッフ一同指導していきたく思っておりますので、是非一度、帯広の地に！



お申込み・お問い合わせ

- 照会窓口：事務部管理課 庶務班長
- 担当医師：院長 本間 裕士
- T E L：0155-33-3155
- E - m a i l：oota.norihiko.je@mail.hosp.go.jp
- 病院見学：随時受付

トピックス



2011年秋に道東自動車道が全通し、札幌へのアクセスが向上しました。(約2時間)また、東京へのアクセスも「とち帯広空港」から「羽田空港」まで1日7便が就航しています。帯広市は北海道屈指の広さを誇る十勝平野にありますが、四季を通じて晴天の日が多く、北海道では最も日照時間が長く、全国でも有数の多日照地域です。冬季も降雪量は少なく、医療施設

の立地条件として有利な自然環境です。観光資源としては欧州を思わせる広大な景観、十勝川温泉、ばんえい競馬、名物豚丼やスイーツなどがあり、魅力溢れる帯広へ是非研修に来ていただきたいと思っております。

病院概要

- 病院長名： 藤 哲
- 住 所： 〒036-8545 青森県弘前市大字富野町1番地
- T E L： 0172-32-4311
- F A X： 0172-33-8614
- U R L： <https://hirosaki.hosp.go.jp>

診療科・医師数 2020年1月1日現在

内	呼内	消内	循内	神内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
	3	7	1		6	1				7	4	6	1	1	2	1	2
泌	リハ	アレ	精神	救急	他								計		初期	後期	計
1					1								46		15	0	15

病床数(医療法病床数) 2020年1月1日現在

一般	重症心身障害	認知症	結核	精神	感染症	療養	計
342							342

- 1日平均患者数：【外 来】549.5件／【入 院】266.0件 (2018年度)
- 年間救急患者数：9,040.0件(救急車搬送数：1,870.0件/年間) (2018年度)
- 電子カルテシステム：有

研修体制

- 指導医数：33名 2020年1月1日現在
- 臨床病理検討会(CPC)の実施状況：1回(2018年度)／剖検数：1件(2018年度)
- 学会・研修会への参加費用：支給有り(発表者のみ)
- 給与(参考) ※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修(専攻医等)
1年次	500,000 円/月	570,000 円/月
2年次	500,000 円/月	570,000 円/月
3年次	—	円/月

- 当 直：【初期研修】3回/月平均 【専門研修】0回/月平均
- 各種保険：社会保険、厚生年金保険、労働者災害補償保険、雇用保険
- 宿舍・住宅：無 (アパート月額賃料補助あり)
- 院内保育所：有

研修概要

初期研修

- 研修の特徴
地方型二次医療圏中核病院としての役割を三次、一次医療機関との連携の中で多様かつ多数の症例を経験する。また、指導医や上級医のサポートの下に、臨床医としての日々の診療を安全に実施できるレベルを到達目標としている。
- 募集人数：8名
- 試験日程：①9月予定 ②12月予定
- 修了後の進路：弘前大学医学部附属病院等他医療機関
- 研修スケジュール：

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1年次	内 科						救急*	精神科	産婦人科	小児科	外 科		
2年次	地域医療	選 択											

※一定のまとまった研修に加えて、週1回の救急外来での研修を特定の期間行い、合計3ヶ月以上となるようなものとする。

専門研修

■ 専門研修プログラム(連携)

基本領域名(プログラム名)	定員
内科(弘前大学医学部附属病院内科専門研修プログラム)	
眼科(弘前大学医学部附属病院眼科専門研修プログラム)	
放射線科(弘前大学医学部附属病院放射線科専門研修プログラム)	
整形外科(弘前大学医学部附属病院整形外科専門研修プログラム)	
泌尿器科(弘前大学医学部附属病院泌尿器科専門研修プログラム)	
産婦人科(弘前大学医学部附属病院産婦人科専門研修プログラム)	
病理(弘前大学医学部附属病院病理専門研修プログラム)	
外科(弘前大学医学部附属病院外科専門研修プログラム)	
小児科(弘前大学医学部附属病院小児科専門研修プログラム)	
耳鼻咽喉科(弘前大学医学部附属病院耳鼻咽喉科専門研修プログラム)	
麻酔科(弘前大学医学部附属病院麻酔科専門研修プログラム)	
総合診療(弘前大学医学部附属病院総合診療専門研修プログラム)	
内科(NHO仙台医療センター内科専門研修プログラム)	

- 研修の特徴
当院では基幹専門研修プログラムの連携施設として、豊富な臨床経験を持つ指導医の下で多くの症例を経験できる。
- 処遇
国立病院機構の規定による



病院PR

- ・ ニセフ・WHO認定『赤ちゃんにやさしい病院(Baby Friendly Hospital)』認定病院(2007.7.28)
- ・ 母子医療センター、NICU(新生児特定集中治療室)
- ・ がん診療施設、エイズ拠点病院救急告示病院
- ・ 弘前市第二次救急輪番病院(内科系・外科系)
- ・ 津軽地域小児救急医療体制二次輪番病院、臨床研究部(2008.4開設)
- ・ 成育医療研究室、がん治療研究室、臨床薬理研究室、病理診断研究室、受託研究管理室の5室で運営

■ 専門医資格関連情報(2020年1月1日現在)

日本内科学会認定医制度教育関連病院、日本眼科学会専門医制度研修施設、日本静脈経腸栄養学会・NST(栄養サポートチーム)稼働施設、日本栄養療法推進協議会NST稼働施設、日本静脈経腸栄養学会実施修練認定教育施設(NST)、日本小児科学会小児科専門医研修施設、日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設、日本麻酔科学会麻酔科認定病院、日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設、日本産婦人科学会専門医制度専攻医指導施設、日本呼吸器学会認定施設、日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設、日本整形外科学会認定医制度研修施設、日本病理学会研修登録施設、日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関、日本乳癌学会認定医・専門医制度認定施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本消化器内視鏡学会指導施設、乳房再建用エキスパンダー実施施設、外科周術期感染管理教育施設、日本外科学会外科専門医制度関連施設、日本プライマリ・ケア連合学会認定家庭医療後期研修プログラム、日本手外科学会研修施設、日本リウマチ学会教育施設、NCD施設会員、日本周産期・新生児医学会周産期専門医(新生児)暫定認定施設

研修担当

プライマリケアに必須な基本知識と技術を習得するとともに、医療人としての基本姿勢・態度を学び、医師としての人格を涵養します。特に高齢者の多い地方型二次医療圏での救急、包括医療について全人的治療を目指すこととし、診療内容が複雑にならないよう最大限努力することを責務としています。国立病院機構関連の学会発表、機関紙への投稿、研修会、細胞培養や新規臨床試験に参加することで学術面での研鑽を重ね研究MINDを育みます。



お申込み・お問い合わせ

- 照会窓口：事務部管理課
- 担当医師：臨床研究部長 石黒 陽
- T E L：0172-32-4311
- E - m a i l：106-Rinken2@mail.hosp.go.jp
- 病院見学：随時受付

トピックス



当院は青森県津軽地区の基幹医療施設であり、全部で18診療科を標榜とする急性期病院です。現在は2022年の弘前市立病院との統合に向け外来・入院患者数が日々増加し、更に臨床現場が活性化しています。当院では内科・外科問わず幅広いプライマリケアから高度医療まで展開しており、特に小児周産期の高度医療も魅力の一つです。また、救急外来では各科の専門医とマンツーマンで診療にあたる事が出来ます。ある程度自分の時間を確保しつつ幅広く医療を学びたい方や丁寧な個別指導を受けつつ自分の臨床経験を積みたい方におすすめしたい研修病院です。

病院概要

- 病院長名： 藺藤 順
- 住 所： 〒031-0003 青森県八戸市吹上3丁目13番1号
- T E L： 0178-45-6111
- F A X： 0178-43-7814
- U R L： <https://hachinohe.hosp.go.jp>

■ 診療科・医師数 2020年1月1日現在

内	呼内	消内	循内	神内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
5									1	1							
泌	リハ	アレ	精神	救急	他								計			初期	後期
													7				計

■ 病床数(医療法病床数) 2020年1月1日現在

一般	重症心身障害	脳ジストロフィー	結核	精神	感染症	療養	計
50	100						150

- 1日平均患者数：【外 来】8.3件／【入 院】149.8件 (2018年度)
- 年間救急患者数：1.0件(救急車搬送数：0.0件/年間) (2018年度)
- 電子カルテシステム：無

研修体制

- 指導医数：4名 2020年1月1日現在
- 臨床病理検討会(CPC)の実施状況：0回(2018年度)／剖検数：0件(2018年度)
- 学会・研修会への参加費用：支給有り(発表者のみ)
- 給与(参考) ※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修(専攻医等)
1年次	—	—
2年次	—	—
3年次	—	—

- 当 直：【初期研修】0回/月平均 【専門研修】4回/月平均
- 各種保険：健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
- 宿舍・住宅：無
- 院内保育所：無

研修概要

初期研修

- 基幹型病院名：東北大学病院、八戸市立市民病院、国立病院機構仙台医療センター
- 当院での研修領域：地域医療



病院PR

■ 診療の特徴

内科、リハビリテーション科(装具療法を含む)、神経内科、脳血管疾患後遺症やALSや筋ジストロフィーの患者に対する治療。特に高次脳機能障害分野や内部障害分野の治療は東北大学院医学研究科と共同で行っています。また、プライマリーケアの実施と地域包括リハビリテーションの構築のため病診並びに病々連携を活発に行っています。

■ 専門医資格関連情報(2020年1月1日現在)

日本脳神経外科学会脳神経外科専門医、日本医学放射線学会専門医、日本小児科学会専門医、日本内科学会総合内科専門医、日本消化器病学会消化器病専門医

研修担当

神経難病・脳血管疾患・発達障害を伴う肢体不自由と知的障害児(者)などの障害に対するリハビリテーション医学・臨床研究に情熱を持つ皆様をお待ちしております。近赤外線光トポグラフィ装置(NIRS)最新脳波計・各種シミュレーションモデルなどの医療機器を備えています。また、地域在宅医療研修も他施設と共同で行っております。



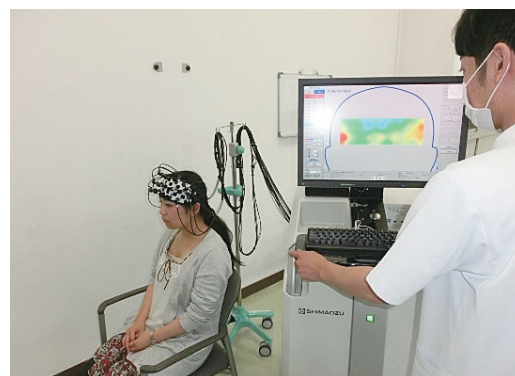
お申込み・お問い合わせ

- 照会窓口：管理課 管理課長
- 担当医師：院長 藺藤 順
- T E L：0178-45-6111
- E - m a i l：107-KANRI@mail.hosp.go.jp
- 病院見学：随時受付

トピックス



リハビリ光景



脳血流測定(近赤外線光トポグラフィ装置)

病院概要

- 病院長名：高田 博仁
- 住所：〒038-1331 青森県青森市浪岡大字女鹿沢字平野155-1
- TEL：0172-62-4055
- FAX：0172-62-7289
- URL：https://aomori.hosp.go.jp

診療科・医師数 2020年1月1日現在

内	呼内	消内	循内	神内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
2				4	2				2	3						1	2
泌	リハ	アレ	精神	救急	他	歯科										初期	後期
		1			1											計	計
																19	

病床数(医療法病床数) 2020年1月1日現在

一般	重症心身障害	筋ジストロフィー	結核	精神	感染症	療養	計
100	120	80	33				333

- 1日平均患者数：【外 来】108.6件／【入 院】299.0件 (2018年度)
- 年間救急患者数：243.0件(救急車搬送数：37.0件/年間) (2018年度)
- 電子カルテシステム：無 オーダーリング導入済

研修体制

- 指導医数：8名 2020年1月1日現在
- 臨床病理検討会(CPC)の実施状況：0回(2018年度)／剖検数：0件(2018年度)
- 学会・研修会への参加費用：支給有り(発表者のみ)
- 給与(参考) ※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修(専攻医等)
1年次	—	541,500 円/月
2年次	—	559,600 円/月
3年次	—	円/月

- 当 直：【初期研修】0回/月平均 【専門研修】0回/月平均
- 各種保険：
- 宿舎・住宅：有
- 院内保育所：有

研修概要

初期研修

- 基幹型病院名：国立大学法人弘前大学医学部附属病院
独立行政法人国立病院機構弘前病院
- 当院での研修領域：小児科、神経内科、内科
- プログラムの特徴：
基幹型病院の研修プログラムに組み込まれた形で、当院の重要な治療領域である重症心身障害医療、筋ジストロフィー及び神経難病について研修できる施設です。

専門研修

■ 専門研修プログラム(連携)

基本領域名(プログラム名)	定員
弘前大学医学部附属病院小児科研修医(専攻医)プログラム	1名
弘前大学外科専門医研修プログラム	1名
弘前大学医学部附属病院皮膚科プログラム	1名
青森県立中央病院内科専門医研修プログラム	1名

- 研修の特徴
重症心身障害医療、筋ジストロフィー及び神経難病について、青森県のセンター的機能を有していることから、当該医療領域の全容を理解するために最適な研修ができる施設です。
- 処遇
上記研修体制のとおり
- プログラム統括責任者名：今 清覚

病院PR

【信条】
当院は、「病める人には安らぎを、健やかな人にはしあわせを」を信条としております。

【使命】
国立病院機構の政策医療と地域のニーズに応じた一般医療を行います。

【展望】
各種障害者(難病)のニーズに応える包括的医療と地域ニーズに応じた二次医療施設を目指します。

当院は、神経筋疾患(成人・小児)、重症心身障害医療、結核医療、成育医療(小児精神疾患・腎疾患・膠原病・アレルギー疾患)の政策医療を行いながら、地域医療として各科による一般診療を行います。

■ 専門医資格関連情報(2020年1月1日現在)
臨床研修協力施設、日本神経学会専門医制度教育施設、日本アレルギー学会准教育施設

研修担当

筋ジストロフィー・神経難病・重症心身障害・成育医療(小児慢性疾患・思春期医療)・呼吸器疾患(結核を含む)の各分野において、患者さま一人ひとりを中心とした高度な医療を行うべく、職員がチームワークよくリーダーと一体になって取り組んでいる病院です。

皆様もどうぞわれわれと一緒に、人が人に行う医療を発展させていきませんか。



お申込み・お問い合わせ

- 照会窓口：事務部管理課
- 担当医師：診療部長 今 清覚
- TEL：0172-62-4055
- E-mail：kon.seiko.zc@mail.hosp.go.jp
- 病院見学：随時受付

トピックス

当院では、教育研修活動も活発に実施しております。この写真は、当院で開催した神経・筋勉強会です。



初期臨床研修	協力型
専門研修	連携

<https://morioka.hosp.go.jp>

病院概要

- 病院長名： 木村 啓二
- 住 所： 〒020-0133 岩手県盛岡市青山一丁目25番1号
- T E L： 019-647-2195
- F A X： 019-646-1195
- U R L： <https://morioka.hosp.go.jp>

診療科・医師数													2020年1月1日現在					
内	呼吸	消化	循環	神経	外	呼吸	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔	計	
1	5			2					2		3						1	
泌	リウ	アレ	精神	救急	他							計				初期	後期	計
	1			1								16						

病床数(医療法病床数)							2020年1月1日現在	
一般	重症心身障害	脳卒中リハ	結核	精神	感染症	療養	計	
204	46		10				260	

- 1日平均患者数：【外 来】132.4件／【入 院】178.3件 (2018年度)
- 年間救急患者数：1,107.0件(救急車搬送数：444.0件/年間) (2018年度)
- 電子カルテシステム： 無

研修体制

- 指導医数： 6名 (2020年1月1日現在)
- 臨床病理検討会(CPC)の実施状況： 1回(2018年度)／剖検数：1件(2018年度)
- 学会・研修会への参加費用： 支給有り(発表者・聴講者)
- 給与(参考) ※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修(専攻医等)
1年次	—	550,500 円/月
2年次	—	568,600 円/月
3年次	—	586,500 円/月

- 当 直：【初期研修】 0回/月平均 【専門研修】 3回/月平均
- 各種保険： 健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
- 宿舍・住宅： 有
- 院内保育所： 有
- その他： 医局内にデスク、PC(ネット環境)あり

研修概要

初期研修

- 基幹型病院名： 岩手医科大学附属病院
独立行政法人国立病院機構仙台医療センター
- 当院での研修領域： 呼吸器内科、リウマチ科、整形外科
- プログラムの特徴：
岩手医科大学附属病院は、特定機能病院であり、全国屈指の診療規模を誇る救命救急センターを備えています。
仙台医療センターは、同じ国立病院機構の一員として非常に友好的な関係が構築されています。
当院は、その協力病院として、呼吸器内科(結核・喘息・慢性呼吸器不全)、リウマチ科(関節リウマチの先進的医療)、整形外科(脊椎疾患・関節疾患)、小児科(アレルギー・消化器疾患)について研修を受けることができます。

専門研修

基本領域名(プログラム名)	定員
国立病院機構仙台医療センター内科専門研修プログラム	3名
岩手県立中央病院内科専門研修プログラム	3名
岩手医科大学内科専門研修プログラム	3名
岩手県南内科専門研修プログラム	3名

- 研修の特徴
盛岡医療センターでは、連携施設として内科、呼吸器疾患等の診断と治療の基礎から専門的医療まで研修できます。また、専門医療のみではなく、主担当医として、社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践できる内科専門医をめざせるように教育に力をいれています。

処遇

- 処遇
上記研修体制のとおり
- プログラム統括責任者名： 診療部長 大山 素彦



病院PR

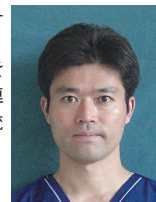
当院は、東北ブロックにおける呼吸器疾患(結核を含む)、免疫異常疾患(リウマチ、膠原病)の基幹施設として位置づけられております。
整形外科においては骨・関節運動疾患の専門施設として診療及び臨床研究に積極的に取り組んでおります。また、近年はBKP(風船椎体形成術)といった最新の治療を取り入れています。
令和2年度から盛岡圏域の重症心身障がい者に対応した療養介護施設の新設及び及び短期入所の実施、アレルギー・免疫疾患医療を中心とした小児専門医療及び盛岡医療圏の入院小児救急医療の実施を開始しています。

専門医資格関連情報(2020年1月1日現在)

- 日本呼吸器学会専門医認定施設
- 日本アレルギー学会専門医認定施設
- 日本リウマチ学会専門医認定施設
- 日本整形外科学会専門医認定施設

研修担当

稼働病床数247床に対して、常勤医が13名と少ないですが、各部門の職員とすぐ顔なじみになれてアットホームな雰囲気です。
看護師をはじめメディカルスタッフは医師研修に協力的です。それらの協力体制により、クリティカルパスを駆使した他職種との連携を基盤としたチーム医療を推進しています。また、職員との交流の機会も設けております。
このような環境でじっくり研修してみませんか。



お申込み・お問い合わせ

- 照会窓口： 事務部管理課 庶務班長
- 担当医師： 診療部長 大山 素彦
- T E L： 019-647-2195
- E - m a i l： 109-kanri@mail.hosp.go.jp
- 病院見学： 随時受付

トピックス

- ・ 岩手医科大学の教授を特別講演の講師として招聘し、近隣クリニックの先生方を対象とした懇談会を毎年1回開催し、地域医療連携の一層の強化を図っています。



病院概要

- 病院長名： 八木 深
- 住 所： 〒025-0033 岩手県花巻市諏訪500
- T E L： 0198-24-0511
- F A X： 0198-24-1721
- U R L： <https://hanamaki.hosp.go.jp/>

診療科・医師数 2020年1月1日現在

内	呼内	消内	循内	神内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔	
泌	リハ	アレ	精神	救急	他								計			初期	後期	計
			5										5					

病床数(医療法病床数) 2020年1月1日現在

一般	重症心身障害	認知症	結核	精神	感染症	療養	計
60				144			204

- 1日平均患者数：【外 来】106.8件／【入 院】163.7件 (2018年度)
- 年間救急患者数：143.0件(救急車搬送数：19.0件/年間) (2018年度)
- 電子カルテシステム：無

研修体制

- 指導医数：3名 2020年1月1日現在
- 臨床病理検討会(CPC)の実施状況：0回(2018年度)／剖検数：0件(2018年度)
- 学会・研修会への参加費用：支給有り(発表者のみ)
- 給与(参考) ※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修(専攻医等)
1年次	653,000 円/月	735,900 円/月
2年次	653,000 円/月	735,900 円/月
3年次	—	735,900 円/月

- 当 直：【初期研修】0回/月平均 【専門研修】4回/月平均
- 各種保険：健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
- 宿舍・住宅：有
- 院内保育所：有

研修概要

初期研修

- 基幹型病院名：岩手県立中部病院、岩手県立磐井病院、NHO仙台医療センター、NCGM国府台病院
- 当院での研修領域：精神科、地域医療
- プログラムの特徴：
 - 【精神科】2週間、1ヶ月、3ヶ月の研修プログラムを用意しています。症例報告レポートの対象疾患である、統合失調症、うつ病、認知症の患者の入院治療を中心として担当してもらいます。
 - 【地域医療】院内では外来、訪問看護、デイケアを中心とした、患者さんの地域生活並びに社会復帰の支援を主に担当してもらいます。また、院外では保健所の地域保健活動へ参加してもらいます。被災地こころのケア活動にも希望があれば参加可能です。

専門研修

■ 専門研修プログラム(連携)

基本領域名(プログラム名)	定員
精神科(東北大学病院精神科専門研修プログラム)	若干名
精神科(NHO仙台医療センター精神科専門研修プログラム)	若干名
精神科(東北医科薬科大学病院精神科専門研修プログラム)	若干名

- 研修の特徴
 - 非常にバラエティーに富んだ症例を豊富に経験することが可能です。そのため、精神保健指定医並びに精神科専門医の資格取得に必要な症例が短期間で経験できます。

- 処遇
 - 現在の後期研修と同程度の予定
 - プログラム統括責任者名：院長 八木 深

病院PR

- 北海道東北グループ管内唯一の精神科専門病院です。
- 経験豊富な指導医と精神科多職種チームが先生の研修をしっかりと支えます。
- 多様な症例と病態が豊富に経験できます。
- 資格取得(精神保健指定医、精神科専門医など)に向けた必要症例が非常に短期間で全て経験できます。
- 精神科専門医療と地域精神科医療を両輪として取り組んでいます。
- 専門領域は以下のとおりです。
 - 精神科急性期医療、治療抵抗性医療(クロザピン、m-ECT：修正型電気けいれん療法)、医療観察法医療(司法精神)、認知症医療、アルコール症医療、児童思春期医療、重症心身障害児(者)医療、被災地こころのケア、精神科リハビリテーション、包括的地域精神科医療

■ 専門医資格関連情報(2020年1月1日現在)

日本精神神経学会精神科専門医制度研修施設
精神科救急医療施設
精神鑑定医養成指定研修施設

研修担当

当院は、精神科急性期病棟、精神科慢性期病棟、医療観察法病棟、重症心身障害病棟を有しており、訪問看護やデイケアなどのアウトリーチ活動やリハビリテーションも熱心に行っています。クロザピンといった先進的な薬物療法にも積極的に取り組んでおり、被災地のこころのケア活動も行っているため、非常に多彩な症例、病態を経験することができます。また、院内でのテレビ会議システムを利用した学習会や研究・研修活動などを通してスキルアップを図ることができ、外部主催の学会や研修会への参加も病院としてバックアップしていき、精神鑑定等、司法精神医療についても豊富な例で専門研修を受けられます。



お申込み・お問い合わせ

- 照会窓口：事務部管理課庶務班長
- 担当医師：院長 八木 深
- T E L：0198-24-0511
- E - m a i l：110-hanamaki@mail.hosp.go.jp
- 病院見学：随時受付

トピックス



当院は、岩手県花巻市の南部に位置しています。農地、雑木林に囲まれた閑静な地域にあり、療養に最適な環境です。岩手県中央のやや南に位置しており、交通の便もよく、診療圏は県全域に及んでいます。精神科に興味のある方は是非ご連絡下さい。

初期臨床研修	協力型
専門研修	—

<https://iwate.hosp.go.jp>

病院概要

- 病院長名： 千田 圭二
- 住 所： 〒021-0056 岩手県一関市山目字泥田山下48番地
- T E L： 0191-25-2221
- F A X： 0191-25-2157
- U R L： <https://iwate.hosp.go.jp>

診療科・医師数													2020年1月1日現在								
内	呼内	消内	循内	神内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔	計	初期	後期	計
3	1			6	1																
泌	リハ	アレ	精神	救急	他																
1				1																	

病床数(医療法病床数)							2020年1月1日現在	
一般	重症心身障害	脳卒中リハ	結核	精神	感染症	療養	計	
100	150						250	

- 1日平均患者数：【外 来】49.3件／【入 院】235.4件 (2018年度)
- 年間救急患者数：325.0件(救急車搬送数：119.0件/年間) (2018年度)
- 電子カルテシステム：有

研修体制

- 指導医数：6名 (2020年1月1日現在)
- 臨床病理検討会(CPC)の実施状況：0回(2018年度)／剖検数：0件(2018年度)
- 学会・研修会への参加費用：支給有り(発表者のみ)
- 給与(参考) ※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修(専攻医等)
1年次	300,000 円/月	560,000 円/月
2年次	300,000 円/月	560,000 円/月
3年次	—	—

- 当 直：【初期研修】3回/月平均 【専門研修】3回/月平均
- 各種保険：健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
- 宿舍・住宅：有(RC-c S62.2)
- 院内保育所：有
- その他：有給休暇：有

研修概要

初期研修

- 基幹型病院名：岩手医科大学、東北大学、岩手県立胆沢病院、栗原市立栗原中央病院、岩手県立磐井病院、仙台医療センター

- 当院での研修領域：神経内科、地域医療、リハビリテーション

- プログラムの特徴：

【研修目標】

地域医療の実験を経験し、患者及びその家族を取り巻く状況を分析し、全人的な対応ができるようにする。

【研修内容】

神経内科一般、神経難病に関わる治療、リハビリテーション一般、重症心身障害児者に関わる患者家族を含む全人的な医療、地域医療連携パス及び開放型病床を含む地域医療連携の実践等(複数科から選択)。

【研修方法】

他の協力施設と調整しながら1ヶ月間行う。

専門研修

- 研修の特徴

病院独自の研修として「神経内科プログラム」「リハビリテーション科プログラム」「頭痛専門医プログラム」を用意しています。神経難病や重症心身障害の研修も可能です。集学的チーム医療や地域医療連携を通して、広い視野を持つ医師に育ってほしいと思います。

- 処遇

現在の後期研修と同程度の予定

病院PR

当院の担う政策医療は、次の3分野です。

- 1 神経・筋疾患(特に神経難病)
この分野の専門医療施設として岩手県の中心的期間を目指します。
- 2 重症心身障害
専門医療施設として、全国のNHO病院とネットワークを組みながら、この分野の医療を推進します。
- 3 エイズ
拠点病院として、東北地区の基幹病院である仙台医療センターと連携して診療にあたります。
その他
地域の需要が高い以下の疾病についても取り組み、地域医療に貢献しています。
(回復期リハビリテーション、低肺機能性疾患、気管支喘息、リウマチ等)

■ 専門医資格関連情報(2020年1月1日現在)

日本神経学会専門医制度における教育施設
日本リハビリテーション医学会研修教育施設
日本頭痛学会認定教育施設

研修担当

神経内科医専門医を目指す医師、神経筋難病医療に関心のある医師、またはリハビリテーション専門医を目指す医師は、是非、当院の後期研修にご応募ください。
世界遺産の平泉が近くにあり、静かな環境ですが、一関市の市街地にも近く、交通の便も良好です。



お申込み・お問い合わせ

- 照会窓口：事務部管理課庶務班 庶務班長
- 担当医師：院長 千田 圭二
- T E L：0191-25-2221
- E - m a i l：inomata.yukimasa.cw.@mail.hosp.go.jp
- 病院見学：随時受付

トピックス



- 指導医(リハビリテーション科)名誉院長 佐藤 智彦
リハビリ部門では県南唯一のリハビリ医養成教育施設として神経疾患ばかりでなく、呼吸器・消化器外科・小児疾患の病例も勉強できます。二次救急も取り扱っておりますので、急性期から慢性期まで幅広い知識を得ることができます。

病院概要

- 病院長名：土肥 守
 - 住所：〒026-0053 岩手県釜石市定内町4-7-1
 - TEL：0193-23-7111
 - FAX：0193-25-1820
 - URL：http://www.nhokamaishi.jp/
 - 診療科・医師数 2020年1月1日現在
- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|----|----|----|----|---|----|----|----|----|----|----|----|---|----|----|----|----|---|
| 内 | 呼内 | 消内 | 循内 | 神内 | 外 | 呼外 | 消外 | 心外 | 脳外 | 小児 | 産婦 | 整外 | 眼 | 耳鼻 | 皮膚 | 放 | 麻酔 | |
| 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 泌 | リハ | アレ | 精神 | 救急 | 他 | | | | | | | | 計 | | | 初期 | 後期 | 計 |
| 3 | | | | | | | | | | | | | 4 | | | | | |
- 病床数(医療法病床数) 2020年1月1日現在
- | | | | | | | | |
|-----|--------|-----|----|----|-----|----|-----|
| 一般 | 重症心身障害 | 認知症 | 結核 | 精神 | 感染症 | 療養 | 計 |
| 100 | 80 | | | | | | 180 |
- 1日平均患者数：【外来】11.7件／【入院】174.4件 (2018年度)
 - 年間救急患者数：95.0件(救急車搬送数：0.0件/年間) (2018年度)
 - 電子カルテシステム：無

研修体制

- 指導医数：1名 2020年1月1日現在
 - 臨床病理検討会(CPC)の実施状況：1回(2018年度)／剖検数：0件(2018年度)
 - 学会・研修会への参加費用：支給有り(発表者のみ)
 - 給与(参考) ※当直手当等は別途支給
- | | | |
|-----|------|-------------|
| | 初期研修 | 専門研修(専攻医等) |
| 1年次 | — | 350,000 円/月 |
| 2年次 | — | 350,000 円/月 |
| 3年次 | — | 350,000 円/月 |
- 当直：【初期研修】0回/月平均 【専門研修】2回/月平均
 - 各種保険：健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
 - 宿舍・住宅：無
 - 院内保育所：有

研修概要

初期研修

- 基幹型病院名：岩手医科大学、岩手県立釜石病院、岩手県立大船渡病院、東北大学病院
- 当院での研修領域：神経内科、重症心身障害児医療、脳卒中後遺症
- プログラムの特徴：
重症の脳卒中患者さんの診察や、治療、重症心身障害児の医療や療育に触れることは、あなたのこれからの医師生活に良い影響を与えることは間違いありません。脳神経外科の指導医は専門医ですし、熱心に指導しますので研修に来た甲斐があること受け合いです。

専門研修

- 研修の特徴
地域医療の協力病院として、難病や慢性期医療を研修していただいています。
- プログラム統括責任者名：院長 土肥 守

病院PR



挨拶をしっかりとし、規律と緊張感のある、人に優しい病院を目指します。

当院の入院では、重症心身障害児者医療・脊髄損傷・神経難病・重症脳卒中後遺症・頭部外傷後遺症などの慢性期を主体とした医療を提供しています。外来では、小児神経(てんかん外来)・頭痛外来などの専門外来を行っています。入院治療では、肺理学療法を中心とした維持期のリハビリ、慢性期型NSTなどに取り組んでおり、基本技術の習得や全身管理の習熟が可能です。また、急患等も少ないので、論文作成や各種研修・地域に出ている在宅医療や地域医療に関する研修も可能です。

釜石医療圏は、東日本大震災で大きな被害を受けましたが、震災前から医師不足が深刻でしたので、医療支援や地域の活性化という目的で来ていただければ大歓迎です。

- 専門医資格関連情報(2020年1月1日現在)
当院では、挨拶をしっかりとし、規律と緊張感のある人に優しい病院、を基本理念として、職員がまとまって楽しく仕事をしています。診療内容は、慢性期のリハビリテーションと重症心身障害児者の医療、小児発達障害外来、頭痛外来などです。また、認定施設ではありませんが脳神経外科・小児科(非常勤)の専門医がおります。

研修担当

毎年、医学生(1・3・5年)の地域医療実習を受け入れており、地域の県立病院とも臨床研修の協力病院になっています。院長の日常については、病院のHPにリンクした院長ブログをご覧ください。
(岩手医科大学医学部脳神経外科助教授より赴任、脳神経外科専門医・脳卒中専門医・岩手医科大学医学部客員教授)



お申込み・お問い合わせ

- 照会窓口：管理課 庶務班 庶務係
- 担当医師：院長 土肥 守
- TEL：0193-23-7111
- E-mail：112-syomu@mail.hosp.go.jp
- 病院見学：見学随時受付

トピックス

ラグビーW杯も終わりましたが、三陸自動車道・釜石自動車道の開通やリアス線の全線開通など交通アクセスも大幅に改善し、街の中もいろいろな施設が完成し、その中でも鶴住居復興スタジアムはラグビーを始めとする様々なイベントが行われています。豊かな自然と相まって、楽しく過ごせる環境ですので、ぜひ研修にいらして下さい。





仙台医療センター

初期臨床研修	基幹型
専門研修	基幹及び連携

<https://nsmc.hosp.go.jp>

病院概要

- 病院長名：上之原 広司
- 住所：〒983-8520 仙台市宮城野区宮城野2-11-12
- TEL：022-293-1111
- FAX：022-291-8114
- URL：https://nsmc.hosp.go.jp

2020年1月1日現在

診療科・医師数															2020年1月1日現在					
血内呼	消内	循内	神内	外	呼外	乳外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻	計	初期	後期	計
4	4	8	5	4	9	4	1	2	7	7	7	6	5	4	2	6	6			
泌	精神	救急	腫内	内代	感内	緩和	小外	形外	病理	腎内	総診	他	計					30	30	60
5	4	3	3	3	2	2	1	3	2	1	2	6	128							

2020年1月1日現在

病床数(医療法病床数)							2020年1月1日現在	
一般	重症心身障害	認知症ケア	結核	精神	感染症	療養	計	
628				32			660	

- 1日平均患者数：【外来】965.8件／【入院】548.9件 (2018年度)
- 年間救急患者数：8,664.0件(救急車搬送数：5,038.0件/年間) (2018年度)
- 電子カルテシステム：有

研修体制

- 指導医数：90名 (2020年1月1日現在)
- 臨床病理検討会(CPC)の実施状況：10回(2018年度)／剖検数:17件(2018年度)
- 学会・研修会への参加費用：支給有り(発表者のみ)
- 給与(参考) ※当直手当等は別途支給 ※賞与別途支給 2020年1月1日現在

		初期研修		専門研修(専攻医等)	
1年次	320,260	円/月	444,000	円/月	
2年次	328,300	円/月	462,300	円/月	

- 当直：【初期研修】4回/月平均 【専門研修】4回/月平均
- 各種保険：健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
- 宿舍・住宅：有(初期研修医、当院基幹プログラム専攻医利用可)
- 院内保育所：有(病後児保育室、24時間保育可)
- その他：研修医室、図書室、インターネット環境整備

研修概要

初期研修

- 研修の特徴
 - ①2年間の研修は地域医療研修を除き院内で完結している。
 - ②当県の3次救急医療の中心である。
 - ③フィリピン熱帯医学研究所における熱帯医学研修、感染症医学研修が可能である。
- 募集人数：19名
- 試験日程：令和2年8月6日(木)、13日(木)、18日(火)、20日(木)、29日(土)予定
- 修了後の進路：当院専攻医、東北大学、宮城県内の病院等
- 研修スケジュール：

自由選択期間を6期確保しており、多様な領域の研修が可能である。

【必修】総合診療科(1期)、救急科(1期)、産婦人科(1期)、小児科(1期)、外科(2期)、内科自由選択(4期)精神科(1期)、地域医療研修(1期)

【選択必修】麻酔科・救急科より選択(1期)

【必修以外】自由選択(6期)

	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期	9期	10期
1年次	総診	救急	産婦	小児	外科(2期)	内科自由選択(4期)				
2年次	総診	麻酔、救急 より選択	地域	精神	自由選択(6期)					

(詳細はホームページ参照)

専門研修

■ 基幹専門研修プログラム：

基本領域名(プログラム名)	定員
内科(国立病院機構仙台医療センター内科専門研修プログラム)	12名
精神科(国立病院機構仙台医療センター精神科専門研修プログラム)	4名
救急科(国立病院機構仙台医療センター救急科専門研修プログラム)	3名
総合診療科(国立病院機構仙台医療センター総合診療科専門研修プログラム)	3名
産婦人科(国立病院機構仙台医療センター産婦人科専門研修プログラム)	5名

- 専門研修プログラム(連携)

東北大学病院(内科、小児科、皮膚科、外科、産婦人科、整形外科、眼科、耳鼻科、泌尿器科、脳神経外科、放射線科、麻酔科、病理診断科、形成外科、総合診療科)、仙台オープン病院(内科)、旭川医療センター(内科)、仙台市立病院(内科)、東北医科薬科大学病院(精神科)、防衛医科大学病院(外科)、東北医科薬科大学病院(泌尿器科、麻酔科)、日本医科大学病院(麻酔科)、東京医療センター(救急科)、北海道医療センター(救急科)

- 研修の特徴

「遅い医師」、「よく考える医師」そして「優しい医師」の育成を目標とします

- 処遇

現在の後期研修と同程度
- プログラム統括責任者名：鶴飼克明、岡崎伸郎、山田康雄、新倉仁、高橋広喜



病院PR

当院は、病床数660床、全32診療科を有し、看護助産学校やウイルスセンター、メディカルトレーニングセンターも併設し、診療のみならず、教育、研究の面においても東北を代表する基幹病院です。また、国の政策医療である、がん、循環器疾患、成育医療の基幹病院、さらに東北ブロック災害拠点病院、東北ブロックエイズ拠点病院、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院でもあります。救命救急センターの指定を受けて救急車の搬入数は年役5,000件、一次救急から多発外傷を中心とした高次医療まで、全ての疾患・病態に病院をあげて対応しています。さらに2016年10月からは宮城県の救急医療の拠点としてドクターヘリの稼働を開始し、本県救急医療の中心を担っています。

当院の立地は、仙台市のほぼ中央に位置し、仙台駅から車で約5分と交通至便です。近くには東北楽天イーグルスのホームスタジアムがあります。時折観客の歓声を耳にすることがあります。

- 専門医資格関連情報(2020年1月1日現在)

日本内科学会、日本小児科学会、日本皮膚科学会、日本精神神経学会、日本外科学会、日本整形外科学会、日本産婦人科学会、日本眼科学会、日本耳鼻咽喉科学会、日本泌尿器科学会、日本脳神経外科学会、日本医学放射線学会、日本麻酔科学会、日本病理学会、日本救急医学学会、日本形成外科学会他

研修担当

おどろいた表情を見せていた研修医も、患者の示すサインを読み取る時、カンファランスでCT画像を見つめる時には全く違った表情を見せます。それは新しい知識を吸収し、昨日より今日、今日より明日と進歩した自分を感じ取れる喜びでしょうか?彼らの生き生きとした姿は私たちの気持ちも奮い立たせてくれます。3次救急患者、各分野にわたる高度・先端医療は研修医には最高の環境です。熱く語る指導医と頼りになる先輩の後期研修医が待っているのは、一緒に汗を流し一緒に泣き一緒に笑ってくれるあなたたちです。



【災害医療研修】研修医がトリアージ

お申込み・お問い合わせ

- 照会窓口：事務部管理課職員班厚生係長
- 担当医師：臨床研修部長 鈴木 靖士
- TEL：022-293-1111
- E-mail：113-rinken@mail.hosp.go.jp
- 病院見学：常時受付中! (当院ホームページよりお申込みください。)

トピックス



プライマリケアの基本的診療能力を有する医師育成のため、総合診療科と救急科のローテーションが必修です。また、毎週火曜日朝の総合内科症例検討会では、他科の指導医も参加して多角的なディスカッションが行われます。研修医のステップアップに必須の企画です。また、総合診療科では外部の専門家を招聘し、指導を受ける勉強会も行われています。当院の最大の特徴は研修医数が多いことです。多くの仲間と切磋琢磨しながら、目標に向かって進みましょう!!

病院概要

- 病院長名： 武田 篤
- 住 所： 〒982-8555 宮城県仙台市太白区鉤取本町2-11-11
- T E L： 022-245-2111
- F A X： 022-243-2530
- U R L： <https://sendainishitaga.hosp.go.jp>

■ 診療科・医師数 2020年1月1日現在

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
1			1	9					1	2		8					
泌	リハ	アレ	精神	救急	他												
													計			初期	後期
													22			計	

■ 病床数(医療法病床数) 2020年1月1日現在

一般	重症心身障害	筋ジストロフィー	結核	精神	感染症	療養	計
240	80	160					480

- 1日平均患者数：【外 来】132.8件／【入 院】390.2件 (2018年度)
- 年間救急患者数：68.0件(救急車搬送数：50.0件/年間) (2018年度)
- 電子カルテシステム：有

研修体制

- 指導医数：5名 2020年1月1日現在
- 臨床病理検討会(CPC)の実施状況：0回(2018年度)／剖検数：0件(2018年度)
- 学会・研修会への参加費用：支給有り(発表者のみ)
- 給与(参考) ※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修(専攻医等)
1年次	—	400,000 円/月
2年次	—	400,000 円/月
3年次	—	円/月

- 当 直：【初期研修】2回/月平均 【専門研修】2回/月平均
- 各種 保険：健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
- 宿舍・住宅：無
- 院内保育所：有
- そ の 他：カンファレンス室、図書室、売店有り

研修概要

初期研修

- 基幹型病院名：東北大学病院・国立病院機構仙台医療センター・国立病院機構函館病院・仙台市立病院

- 当院での研修領域：地域医療

- プログラムの特徴：

当院は神経難病や重症心身障害児(者)の診療にあたっており、神経難病患者の在宅往診、障害者の社会研修などの地域医療に関して基幹病院と連携して学ぶことができる。

専門研修

- 専門研修プログラム(連携)

基本領域名(プログラム名)	定員
内科(国立病院機構仙台医療センター内科専門研修プログラム)連携施設	
内科(旭川医療センター新専門研修プログラム)連携施設	
内科(仙台市立病院 内科 専門研修 プログラム)連携施設	
内科(仙台赤十字病院 内科専門研修プログラム)特別連携施設	
整形外科(東北大学整形外科専門研修プログラム)連携施設	

- 研修の特徴

当院では専門研修プログラムの連携施設として、内科では神経内科の神経筋疾患を中心に、整形外科では脊椎外科を中心に、多くの症例を経験し、優れた専門診療を複数の指導医から学ぶことができます。

- 処遇

基幹病院との協議による

- プログラム統括責任者名：臨床研究部長 苅部 明彦

病院PR

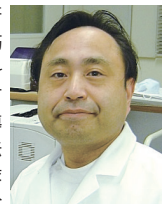
仙台西多賀病院は仙台市郊外南西部にあり、市中心部に近接しているにもかかわらず緑多い環境にあります。脳神経内科、整形外科など専門性の高い病院として基幹病院である東北大学病院、国立病院機構仙台医療センターの他、仙台赤十字病院などの近隣の医療機関と相互協力関係にあります。また隣接する宮城県障害者支援学校と連携し成長期の筋ジストロフィー患者や重症心身障害児(者)の長期療養施設となっています。脳神経内科は160床の専門病棟を有する筋ジストロフィーの他、パーキンソン病、ALSなど代表的な神経疾患の診療にあたっています。また整形外科では年間手術件数600件を超す脊椎部門ならびに股関節脱臼、膝関節症の診療にあたる関節部門が診療にあたっています。臨床研究部は各専門診療を踏まえた研究や治験など臨床研究を推進しています。

- 専門医資格関連情報(2020年1月1日現在)

日本神経学会認定施設、日本整形外科学会認定施設、日本リウマチ学会認定施設、日本麻酔科学会認定施設

研修担当

当院では脳神経内科、整形外科それぞれの専門診療を学ぶ研修プログラムがあります。脳神経内科は神経変性疾患ならびに筋ジストロフィーの専門診療および療養を行っており、脳神経内科を極めたい方に最適です。整形外科は特に脊椎領域で我が国を有数の診療機関の一つであり、国内外の医師が訪れ、優れた指導医から学んでいます。また他院にない特徴として、自施設内で遺伝学的検査が可能で、臨床遺伝学についても深く学ぶことができます。仙台の市街地に近い便利な環境で、じっくりと専門疾患の診療力を高めるには最適な病院です。見学など随時受け付けておりますので、ぜひご来院ください。



お申込み・お問い合わせ

- 照会窓口：事務部管理課
- 担当医師：臨床研究部長 苅部 明彦
- T E L：022-245-2111
- E - m a i l：sasaki.ken.by@mail.hosp.go.jp
- 病院見学：随時

トピックス



平成28年に認知症疾患医療センターを開設。完全予約制で初診当日午前中に鑑別診断ならびに今後の治療方針の説明まで行っています。また同年には医療用下肢タイプロボットスーツを東北地方で初めて導入。平成29年に東北地方では初の最新SPECT-CT装置Symbia Intevoを導入し、院内での核医学検査を開始。そして平成30年には脊椎内視鏡センターを開設。東北地方では普及が遅れている脊椎内視鏡手術の提供、脊椎内視鏡外科医やスタッフの育成、新しい低侵襲手術や治療法の開発を進めています。ぜひ当院で脊椎内視鏡手術を学んでください。

病院概要

- 病院長名：永野 功
- 住 所：〒989-2202 宮城県亶理郡山元町高瀬字合戦原100番地
- T E L：0223-37-1131
- F A X：0223-37-3316
- U R L：https://miyagi.hosp.go.jp

■ 診療科・医師数 2020年1月1日現在

内	呼内	消内	循環	神内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
2				7	1					3							
泌	リハ	アレ	精神	救急	歯	他										計	初期後期計
				1												14	

■ 病床数(医療法病床数) 2020年1月1日現在

一般	重症心身障害	脳卒中リハ	結核	精神	感染症	療養	計
224	120						344

- 1日平均患者数：【外 来】111.3件／【入 院】290.8件 (2018年度)
- 年間救急患者数：787.0件(救急車搬送数：431.0件/年間) (2018年度)
- 電子カルテシステム：有

研修体制

- 指導医数：3名 2020年1月1日現在
- 臨床病理検討会(CPC)の実施状況：0回(2018年度)／剖検数：0件(2018年度)
- 学会・研修会への参加費用：支給有り(発表者のみ)
- 給与(参考) ※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修(専攻医等)
1年次	—	610,000 円/月
2年次	—	630,000 円/月
3年次	—	630,000 円/月

- 当 直：【初期研修】0回/月平均 【専門研修】3回/月平均
- 各種保険：健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
- 宿舍・住宅：有
- 院内保育所：有
- その他：図書室、売店

研修概要

初期研修

- 基幹型病院名：東北大学病院
国立病院機構仙台医療センター
- 当院での研修領域：内科、脳神経内科、脳神経外科
- プログラムの特徴：
脳卒中を含む神経疾患の急性期から慢性期に至る診断や治療、小児科で発達障害、重症心身障害児(者)医療が主体となっています。また、地域の医師会と連携し、地域医療支援ベッドを活用しての地域医療に取り組んでいます。在宅療養支援にも力を入れています。

専門研修

■ 専門研修プログラム(連携)

基本領域名(プログラム名)	定員
内科(国立病院機構仙台医療センター内科専門研修プログラム)	
内科(東北大学病院内科専門研修プログラム)	

- 研修の特徴
脳卒中、神経難病、重症心身障害児(者)医療を中心に研修します。
- 処遇
現在の後期研修と同程度の予定

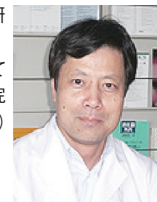
病院PR

国立医療施設としては東北地方最多の神経疾患病床を有しており、筋萎縮性側索硬化症、パーキンソン病、脊髄小脳変性症等、神経難病の方々の療養病棟が整備されています。特に、パーキンソン病では、神経内科(薬剤治療)、脳神経外科(機能的手術)、リハビリテーション科及び様々な部門の連携を通して総合的医療に取り組んでいます(パーキンソン病センター)。また、脳卒中については、急性期治療からリハビリテーションまでの一貫した治療がなされており、他方、内科系各科は近隣医療機関と連携し、地域医療、高齢者医療に尽力し、宮城県沿岸南部、福島県沿岸北部における地域医療・中核病院の機能を担っています。小児科は一般医療に加え、重症心身障害児(者)病棟120床を担当し、コメディカル・スタッフとともに長期入所者の医療、療育、QOL向上に努めています。

- 専門医資格関連情報(2020年1月1日現在)
脳神経外科学会認定専門医訓練施設
日本神経学会認定教育施設

研修担当

当院は神経疾患の急性期のみならず、慢性期の医療を十分に研修できることが特徴です。最終的に急性期中心の市中総合病院に勤務することを希望している医師にとっても、疾患の全体像を理解するという意味で、当院での研修は貴重な経験になると思います。重症心身障害児(者)医療に関心がある方も歓迎いたします。



お申込み・お問い合わせ

- 照会窓口：事務部管理課庶務班長
- 担当医師：副院長 久永 欣哉
- T E L：0223-37-1131
- E - m a i l：115-kanri@mail.hosp.go.jp
- 病院見学：随時受付

トピックス



気候は温暖で、リハビリテーションや中期・長期療養に適した環境です。国道6号線に面しており、常磐自動車道の山元インターチェンジからも10分という距離にあります。病院付近にある飲食店では、秋には「鮭のはらこ飯」、冬から春にかけては「ほっき飯」、初夏の「あなご丼」など海浜地区ならではの郷土料理が楽しめます。また、イチゴなどの特産物も有名で、季節には多くの観光客がいちご狩りを楽しんでいます。

病院概要

- 病院長名： 奈良 正之
- 住 所： 〒018-1393 秋田県由利本荘市岩城内道川字井戸沢84-40
- T E L： 0184-73-2002
- F A X： 0184-73-2370
- U R L： <https://akita.hosp.go.jp>

診療科・医師数 2020年1月1日現在

内	呼内	消内	循内	神内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
3				6						1					1		
泌	リハ	アレ	精神	救急	歯								計		初期	後期	計
					1								12				

病床数(医療法病床数) 2020年1月1日現在

一般	重症心身障害	筋ジストロフィー	結核	精神	感染症	療養	計
94	160	80	6				340

- 1日平均患者数：【外 来】54.2件／【入 院】329.8件 (2018年度)
- 年間救急患者数：19.0件(救急車搬送数：5.0件/年間) (2018年度)
- 電子カルテシステム：有

研修体制

- 指導医数：7名 2020年1月1日現在
- 臨床病理検討会(CPC)の実施状況：0回(2018年度)／剖検数：0件(2018年度)
- 学会・研修会への参加費用：支給有り(発表者のみ)
- 給与(参考) ※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修(専攻医等)
1年次	500,000 円/月	550,000 円/月
2年次	530,000 円/月	—
3年次	—	—

- 当 直：【初期研修】4回/月平均 【専門研修】4回/月平均
- 各種保険：健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
- 宿舍・住宅：有
- 院内保育所：無

研修概要

初期研修

- 基幹型病院名：秋田大学医学部附属病院
- 当院での研修領域：内科、神経内科、地域医療
- プログラムの特徴：

秋田大学医学部附属病院を基幹型研修病院として、内科、外科、救急部・麻酔科の3科を基本研修科目とし、小児科、産婦人科、精神科及び地域保健・医療を必修科目とする。原則として基本研修科目を1年目に、必修科目を2年目に研修する。基本科目のローテーション期間は1ヶ月を1単位とする。また、本荘第一病院の協力病院として神経・筋難病の臨床研修、秋田赤十字病院の協力病院として地域医療「小児科(重中心)」の臨床研修を行います。

専門研修

- 専門研修プログラム(連携)

基本領域名(プログラム名)	定員
内科(秋田大学医学部附属病院内科専門研修プログラム)	

- 研修の特徴

神経・筋難病、筋ジストロフィーを中心とした慢性神経・筋疾患の研修希望者に適している。

- 処遇

専修医(後期研修)と同程度

- プログラム統括責任者名：副院長 豊島 至

病院PR

あきた病院の理念

「心のコモった、癒しの医療」

あきた病院の基本方針

- 1.患者さんの権利を尊重し、安心できる医療を提供します。
- 2.快適で満足できる医療環境を提供します。
- 3.政策医療を担いかつ地域医療に貢献します。
- 4.研究・研修を推進し専門性ある医療の向上に努めます。
- 5.生きがいのある職場作りを目指します。

重症心身障害児(者)病床160床、筋ジストロフィー病床80床、神経難病の患者さんかぜ主として入院している一般病床94床があり、人工呼吸器を装着している患者さんは約80人おります。

当院では、CT、MRI、CT・SPECTを保有し、秋田県難病医療等ネットワーク事業に係る拠点病院の指定も受けております。

- 専門医資格関連情報(2020年1月1日現在)

日本神経学会専門医制度教育室

研修担当

- 副院長 豊島 至

秋田大学医学部附属病院、本荘第一病院及び秋田赤十字病院との連携の下、神経・筋難病に取り組んでいるところです。優秀な指導医が揃っておりますので、初期臨床研修の期間を当院においてお過ごしいただきたいと思っております。



お申込み・お問い合わせ

- 照会窓口：事務部 管理課
- 担当医師：豊島 至
- T E L：0184-73-2002
- E - m a i l：116-akitaHP.sy@mail.hosp.go.jp
- 病院見学：随時受付

トピックス



あきた病院は、秋田市と由利本荘市の中間の日本海に面した丘陵にあります。

眼下には、日本初のペンシルロケットが発射されたことで有名な道川海岸があり、冬には秋田の名物であるハタハタが海岸線までやってきます。

病院から日本海に沈む夕陽を臨めることが出来ます。

JR秋田駅から電車で約20分、車で約40分。秋田空港から車で約30分と1時間以内での移動が可能です。



山形病院

初期臨床研修	協力型
専門研修	連携

<https://yamagata.hosp.go.jp/>

病院概要

- 病院長名：川並 透
- 住所：〒990-0876 山形県山形市行才126-2
- TEL：023-684-5566
- FAX：023-684-2519
- URL：https://yamagata.hosp.go.jp/

2020年1月1日現在

診療科・医師数																	
内	呼内	消内	循内	神内	外	呼外	消外	心外	脳外	小兒	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
1	2		1	8					1	1		1					
泌	リハ	アレ	精神	救急	他												
													計	初期	後期	計	
													15				

2020年1月1日現在

病床数(医療法病床数)							
一般	重症心身障害	脳卒中リハ	結核	精神	感染症	療養	計
198	102						300

- 1日平均患者数：【外来】56.6件／【入院】279.1件 (2018年度)
- 年間救急患者数：106.0件(救急車搬送数：42.0件/年間) (2018年度)
- 電子カルテシステム：有

研修体制

- 指導医数：6名 (2020年1月1日現在)
- 臨床病理検討会(CPC)の実施状況：0回(2018年度)／剖検数：0件(2018年度)
- 学会・研修会への参加費用：支給有り(発表者のみ)
- 給与(参考) ※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修(専攻医等)
1年次	500,000 円/月	550,000 円/月
2年次	530,000 円/月	—
3年次	—	—

- 当直：【初期研修】2回/月平均 【専門研修】2回/月平均
- 各種保険：健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
- 宿舍・住宅：無
- 院内保育所：有
- その他：カンファレンス室、図書室、売店 有

研修概要

初期研修

- 基幹型病院名：山形大学医学部附属病院
- 当院での研修領域：神経内科、呼吸器内科、リハビリテーション科
- プログラムの特徴：山形大学医学部の初期研修プログラムの研修協力病院です。最初は、山形大学附属病院で研修を行います。その後、当院において初期研修の内科系選択科目や希望科目を担当することになります。また、結核や神経難病、てんかん、障がい者、リハビリテーションの専門病院であり、病診連携による回復期慢性期診療の研修ができます。

専門研修

■ 専門研修プログラム(連携)

基本領域名(プログラム名)	定員
総合内科(山形大学総合内科プログラム)	2名

- 研修の特徴
リハビリテーション科では脳血管障がいだけでなく、当院の専門分野である神経難病、呼吸器疾患のリハビリテーションについても十分経験ができる研修内容です。神経内科は包括医療をしており神経筋疾患全般を総合的に研修ができます。特に山形県難病医療の拠点病院として神経難病病棟があり、難病相談、在宅診療支援に特徴があります。また、てんかんセンターを併設しており、てんかん診療の研修も可能です。呼吸器科は、呼吸疾患全般の研修が可能です。

- 処遇
基幹病院との協議による

トピックス

■ 院長 川並 透



当院は県内唯一の神経難病医療の拠点病院です。そのため、筋萎縮性側索硬化症や脊髄小脳変性症、パーキンソン病等神経難病の患者さんが多数入院・通院され、これらの疾患に関し豊富な症例を経験できます。更に、県内の難病医療の中心として他医療機関や看護・介護施設とのネットワークを整備しています。これら多施設との協力態勢のもと、神経難病患者さんへ包括的なケアを提供することが当院の責務と考えています。従って、当院での研修によって診断や治療という医学的側面だけではなく、社会的・福祉的な面からも患者さんを見る目が養われるものと確信しております。



病院PR

- 1 神経・筋疾患の医療(てんかんを含む)：神経難病医療：山形県の拠点病院として、専門医による包括的医療、難病相談や難病研修、そして在宅医療支援をしております。てんかん医療：専門病棟にて、難治性てんかにも取り組んでおります。
2. 呼吸器疾患医療：山形県の呼吸器難治性疾患の最終拠点病院の役割を果たしております。
3. 重症心身障がいと小児慢性疾患の医療：隣接の山形県立山形養護学校と連携し、医療と教育に取り組んでおります。
4. リハビリテーション：脳卒中、神経難病、骨関節疾患や呼吸器疾患等に取り組んでおります。
5. 平成31年4月より認知症疾患医療センターを開設し、認知症疾患にも取り組んでおります。
6. 附属看護学校：看護師養成に力を尽くしております。

- 専門医資格関連情報(2020年1月1日現在)
日本神経学会専門医制度教育施設

研修担当

当院は神経難病の拠点病院で、ALS、パーキンソン病、多系統萎縮症など神経難病の患者さんが多数入院しており、急性期病院では経験することのできない神経難病の慢性期医療を疾患の治療だけでなく、リハビリ、在宅医療、介護施設や他医療機関との連携など包括的に研修することができます。脳神経内科の専門医、指導医は5名おり研修医の皆さんの期待に応えられる体制をとっています。リハビリ部門も充実しており、脳卒中、神経難病のリハビリに積極的に取り組んでいます。また、てんかんセンターも併設しており、てんかんの専門医療を行っています。神経難病、リハビリ、てんかんに興味のある方には充実した研修を受けられる病院です。



お申込み・お問い合わせ

- 照会窓口：事務部管理課
- 担当医師：教育研修部長 山川 達志
- TEL：023-684-5566
- E-mail：117-yamagata-kanri2@mail.hosp.go.jp
- 病院見学：随時受付

■ 副院長 宇留野 勝久



神経難病の拠点病院として筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、パーキンソン病などの患者さんが多数通院、入院しており、診療は当然ながら、在宅も含め他医療機関や看護・介護施設との連携など、地域医療連携室(看護師、ソーシャルワーカー)を介しての包括的医療を実践しています。また、全国でも数少ないてんかんセンターがあり、長時間ビデオ脳波モニタリングによる発作型診断や、治験を含めた新規抗てんかん薬による薬物治療など専門的な医療を行っています。神経難病もてんかんも、疾患であると同時に障がいでもあり、患者さんのQOLを高めるために医療福祉両面からのサポートが必要であり、当院はその機能を果たしています。

病院概要

- 病院長名： 飛田 宗重
- 住 所： 〒992-1202 山形県米沢市大字三沢26100-1
- T E L： 0238-22-3210
- F A X： 0238-22-6691
- U R L： <https://yonezawa.hosp.go.jp/>

2020年1月1日現在

診療科・医師数																		
内	呼内	消内	循内	神内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔	
2				5													1	
泌	リハ	アレ	精神	救急	他	歯科							計				初期後期	計
													8					

2020年1月1日現在

病床数(医療法病床数)							
一般	重症心身障害	脳ストローク	結核	精神	感染症	療養	計
100	120						220

- 1日平均患者数：【外 来】18.6件／【入 院】192.2件 (2018年度)
- 年間救急患者数：4.0件(救急車搬送数：3.0件/年間) (2018年度)
- 電子カルテシステム：有

研修体制

- 指導医数：3名 (2020年1月1日現在)
- 臨床病理検討会(CPC)の実施状況：0回(2018年度)／剖検数：0件(2018年度)
- 学会・研修会への参加費用：支給有り(発表者のみ)
- 給与(参考) ※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修(専攻医等)
1年次	—	540,000 円/月
2年次	—	550,000 円/月

- 当 直：【初期研修】0回/月平均 【専門研修】2回/月平均
- 各種保険：健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
- 宿舍・住宅：有
- 院内保育所：無

研修概要

初期研修

- 基幹型病院名：国立病院機構仙台医療センター、米沢市立病院
- 当院での研修領域：脳神経内科
- プログラムの特徴：

臨床神経学・神経学的診察法のトレーニングプログラムを設置
 脳神経内科の基本的疾患(脳血管障害・神経感染症・神経変性症・認知症・神経筋疾患・脱髄疾患・てんかん・頭痛など)について基本的診察と検査(脳脊髄液検査、高次脳機能検査、脳波、筋電図検査、神経生検、CTやMRI判読)を主治医として 独立して行うことができる水準を目標とする。

日本神経学会専門医の指導の下、病棟患者7~8名程度の主治医として病棟業務に従事し、脳神経内科学的診察・検査技法・画像の判読など、脳神経内科医としての基本的事項を習得。漢方内科及び放射線専門医の指導も随時受けることができる。

専門研修

- 研修の特徴

日本神経学会認定神経内科専門医を取得することを目標に、脳神経内科のみならず関連領域(神経放射線、小児神経)の研修を行う。脳神経内科前期基礎プログラム、脳神経内科後期基礎プログラム、脳神経内科専門プログラムを各1年ずつ研修し3年間で終了とする。漢方内科の専門医が週3日診療を担当しており、漢方診療についても指導を受けることができる。社会人大学院制度の利用や研究日の設定可能である。同制度を利用して当院で医学博士学位取得者が複数誕生している。
- 処遇

上記専修医(後期研修)と同程度の予定
- プログラム統括責任者名：院長 飛田 宗重

病院PR

山形県南(置賜地域)における中枢神経疾患診療の基幹施設に位置づけられる当院は、脳卒中重度後遺症、重度心身障がい、神経難病医療において中心的役割を果たしています。特にALS(筋萎縮性側索硬化症)に関しては訪問診療・レスパイト・長期入院療養と様々な要望に応じた診療を実践しています。また、3TMRIを有し脳ドックを実施しています。さらに「地域完結型脳卒中クリティカルパス」「認知症予防事業」にて一翼を担い地域医療に貢献しています。

山形大学・東北大学・国立病院機構仙台医療センター等での院外研修制度活用により、2006年以降、医学博士学位取得者2名、日本放射線学会専門医1名、日本内科学会認定内科医1名、日本神経学会指導医3名、日本神経学会専門医2名が誕生しています。また、女性医師専用医局を完備しておりフレキシブルな勤務形態を用意できますので、気軽にお問い合わせ下さい。

■専門医資格関連情報(2019年3月1日現在)

- 日本神経学会認定専門医制度准教育施設
- 日本小児神経学会認定専門医研修関連施設
- 日本東洋医学会指定研修施設

研修担当

- 院長 飛田 宗重

国立病院機構仙台医療センター、米沢市立病院と連携し当院の特徴を生かした研修プログラムとなっています。脳神経内科病棟では稀少疾患を経験でき、指導医の親切丁寧な指導体制には定評があります。



- 診療部長 高橋 利幸

神経変性疾患を中心に、難病・認知症・重度意識障害を持つ患者様の長期療養例の経験を積むことが可能です。



お申込み・お問い合わせ

- 照会窓口：事務部管理課庶務係
- 担当医師：飛田 宗重 高橋 利幸
- T E L：0238-22-3210 内線206
- E - m a i l：118-shomu2@mail.hosp.go.jp
- 病院見学：見学随時受付

トピックス

山形県は「食と温泉の王国」としても有名です。米沢牛やさくらんぼ、ラ・フランス。蕎麦やラーメン、地酒も美味しいです。米沢八湯など温泉にも恵まれ、市内にシネマコンプレックスがあるなどエンタテイメントも充実しています。

当院は近隣の幼稚園や中学校との交流イベントも実施しています。院内に展示している米沢市立第五中学校生徒会制作のモザイクアート「上杉謙信公」「直江兼続公」は必見です。「愛」と「義」の街、米沢の魅力を堪能しながら、有意義な研修生活をお送りいただけますよう全力でサポートいたします。



病院概要

- 病院長名： 杉浦 嘉泰
- 住 所： 〒962-8507 福島県須賀川市芦田塚13
- T E L： 0248-75-2131
- F A X： 0248-76-2382
- U R L： <https://fukushima.hosp.go.jp/>

診療科・医師数													2020年1月1日現在									
内	呼内	消内	循環	神内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔	計	初期	後期	計	
	1			3														4			1	
泌	リハ	アレ	精神	救急	他																9	

病床数(医療法病床数)							2020年1月1日現在	
一般	重症心身障害	脳卒中リハ	結核	精神	感染症	療養	計	
139	164						303	

- 1日平均患者数：【外 来】47.6件／【入 院】179.4件 (2018年度)
- 年間救急患者数：28.0件(救急車搬送数：4.0件/年間) (2018年度)
- 電子カルテシステム：有

研修体制

- 指導医数：3名 (2020年1月1日現在)
- 臨床病理検討会(CPC)の実施状況：0回(2018年度)／剖検数：0件(2018年度)
- 学会・研修会への参加費用：支給有り(発表者のみ)
- 給与(参考) ※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修(専攻医等)
1年次	—	—
2年次	—	—
3年次	—	—

- 当 直：【初期研修】0回/月平均 【専門研修】0回/月平均
- 各種保険：健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
- 宿舍・住宅：有(築15年、3LDK)
- 院内保育所：有

研修概要

初期研修

- 基幹型病院名：公立岩瀬病院、総合南東北病院、仙台医療センター、福島県立医科大学

- 当院での研修領域：地域医療(小児科)

- プログラムの特徴：

当院は、平成29年3月まで、福島県での周産期医療拠点病院としてハイリスク母体および病的新生児が搬送され豊富な診療実績を上げた。現在は、ポストNICU、ポストPICUとしての役割を担い、短期入所サービスやレスパイト入院など、在宅医療介護の支援を積極的に推し進めている。また、新生児小児期発症の神経疾患についても小児神経科医の指導のもとでの充実した研修が可能である。実地診療では、複数の指導医等との関わりの中で受け持ちを担当し自己解決型の研修を行う。

専門研修

- 専門研修プログラム(基幹)

基本領域名(プログラム名)	定員
一般社団法人日本神経学会神経内科専門医研修モデルカリキュラム	3名

- 専門研修プログラム(連携)

基本領域名(プログラム名)	定員
福島県立医科大学小児科研修プログラム	10名

- 研修の特徴

当院は平成29年10月から脳神経内科が開設され、平成30年4月から神経内科専門医3人体制で、福島県の難病医療に取り組んでいる。福島県全域から、神経変性疾患を中心とした神経難病患者が集まっており、長期的に神経難病の診療にあたることができる。当院では、神経疾患患者の病態を正確に捉えるために、神経症候学、神経果房学、神経生理および臨床神経学を基盤とした演繹的思考、それに基づいた医学的手法を身につけ、幅広く神経疾患に対応できる優秀な神経内科専門医を育成することを目標とする。

- 処遇

現在の後期研修と同程度の予定

- プログラム統括責任者名：院長 杉浦 嘉泰、副院長 石井 勉



病院PR

- 重症心身障害児(者)医療
 - ・重症心身障害児(者)病棟164床の運営により福島県全体の需要に応じた療養介護サービスを提供している。
 - ・当院の大きな特徴は、ポストNICU、ポストPICUとしての役割を担っていることであり、乳児期からの入院にも対応している。また、短期入所サービスやレスパイト入院など、在宅医療介護の支援を積極的に推し進めている。
- 脳神経内科
 - ・平成29年度から脳神経内科が開設され、日本神経学会認定指導医1名、専門医2名で神経変性疾患や筋疾患、末梢神経障害の初期診断から、リハビリテーションや慢性期治療まで行っている。MRIやCTといった神経画像検査や、筋電図や末梢神経伝導検査、誘発電位検査などの電気生理検査を駆使して、専門的に脳神経内科診療に取り組んでおり、日本神経学会教育施設に認定されている。
- 地域医療
 - ・近隣市町村等で実施している胃がん検診にて「要精検」となった方に対する内視鏡検査を実施している。

- 専門医資格関連情報(2020年1月1日現在)

専門研修プログラム連携施設(小児科)
神経内科専門医研修モデルカリキュラム

研修担当

福島病院は旧国立郡山病院と国立療養所福島病院が平成16年に合併し設立した療養型の病院です。国の政策医療である重症心身障害医療における福島県の医療ニーズの大半をカバーし、短期入所サービスやレスパイト入院など、在宅医療介護の支援を積極的に推し進めています。この医療形態は本院での特色であり、充実した研修を行えるものと考えております。



お申込み・お問い合わせ

- 照会窓口：事務部管理課
- 担当医師：石井 勉
- T E L：0248-75-2131
- E - m a i l：119-shomu@mail.hosp.go.jp
- 病院見学：随時受付

トピックス



当院は、慢性疾患に関する機能の充実・拡張し、県内の新生児集中治療室(NICU)や小児集中治療室(PICU)で救命されたものの重度の障害が残ってしまった子どもたちを積極的に受け入れる「ポストNICU」「ポストPICU」機能に加えて、レスパイト入院病床も用意し、日ごろわが子の在宅医療・介護で頑張っておられる両親や家族の方々に支援していこうと考えております。(院長)

病院概要

- 病院長名： 関 晴朗
 - 住 所： 〒971-8126 福島県いわき市小名浜野田字八合88番地1
 - T E L： 0246-88-7101
 - F A X： 0246-88-7075
 - U R L： <http://iwaki-hosp.jp/>
 - 診療科・医師数 2020年1月1日現在
- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|----|----|----|----|---|----|----|----|----|----|----|----|---|----|----|----|----|---|
| 内 | 呼内 | 消内 | 循内 | 神内 | 外 | 呼外 | 消外 | 心外 | 脳外 | 小児 | 産婦 | 整外 | 眼 | 耳鼻 | 皮膚 | 放 | 麻酔 | |
| 2 | | | | 2 | | | | | | 1 | | | | | | | | |
| 泌 | リハ | アレ | 精神 | 救急 | 他 | | | | | | | | 計 | | | 初期 | 後期 | 計 |
| | | | | | | | | | | | | | 5 | | | | | 0 |
- 病床数(医療法病床数) 2020年1月1日現在
- | | | | | | | | |
|----|--------|-----|----|----|-----|----|-----|
| 一般 | 重症心身障害 | 認知症 | 結核 | 精神 | 感染症 | 療養 | 計 |
| 70 | 84 | | | | | | 154 |
- 1日平均患者数：【外 来】33.4件／【入 院】139.2件 (2018年度)
 - 年間救急患者数：26.0件(救急車搬送数：8.0件/年間) (2018年度)
 - 電子カルテシステム：有

研修体制

- 指導医数：4名 2020年1月1日現在
 - 臨床病理検討会(CPC)の実施状況：0回(2018年度)／剖検数：0件(2018年度)
 - 学会・研修会への参加費用：支給有り(発表者のみ)
 - 給与(参考) ※当直手当等は別途支給
- | | | |
|-----|-------------|-------------|
| | 初期研修 | 専門研修(専攻医等) |
| 1年次 | 544,824 円/月 | 585,120 円/月 |
| 2年次 | 565,730 円/月 | 605,835 円/月 |
| 3年次 | - | 円/月 |
- 当 直：【初期研修】0回/月平均 【専門研修】0回/月平均
 - 各種保険：健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
 - 宿舍・住宅：有
 - 院内保育所：無

研修概要

初期研修

- 基幹型病院名：国立病院機構仙台医療センター、いわき市医療センター
- 当院での研修領域：脳神経内科、地域医療
- プログラムの特徴：
五感を駆使した神経学的診察法、脳波・神経伝達検査・各種誘発電位検査などの電気生理学的検査、高次脳機能検査、CT・MRI・核医学的検査の読影、神経超音波検査、神経病理学的検査などの各種検査手法の習得と所見の意味と解釈

専門研修

- 専門研修プログラム(連携)
- | | |
|------------------|----|
| 基本領域名(プログラム名) | 定員 |
| いわき市医療センター内科専門研修 | 6名 |
- 研修の特徴
内科専門研修プログラムに基づき、連携施設として神経筋疾患、神経難病等神経内科分野の研修を担当する。
 - 処遇
現在の後期研修と同程度の予定
 - プログラム統括責任者名：院長 関 晴朗

病院PR



当院は国の政策医療である神経難病・重症心身障害児(者)医療を主体とし、福島県から次城県の太平洋沿岸地域、首都圏の患者様を受け入れ、少しでも安寧と希望を持って生きていけるように援助させていただいております。また、地域における循環器疾患、生活習慣病等の一般医療に対しても積極的に取り組んでおります。具体的には

- ① ALS(筋萎縮性側索硬化症)などの神経難病に対する医療
- ② 脳卒中、てんかん、頭痛などの一般的神経内科的疾患の診断と治療
- ③ 重症心身障害児(者)に対する医療、療育
- ④ 各種神経疾患に対するリハビリテーションの他に重症心身障害児(者)に対する摂食・嚥下機能訓練
- ⑤ 循環器専門医による心・循環動態の評価、および心・循環器疾患予防活動の推進

■ 専門医資格関連情報(2020年1月1日現在)

日本神経学会認定教育施設、神経内科専門医

研修担当

■ 副院長 鈴木 栄

当院は平成31年2月にいわき市内陸部に移転いたしました。新病院では最新のMRIと3DCTなどの画像診断機器も導入いたしました。これに従来からの高品質の神経生理学検査能力を合わせ、あらゆる神経疾患の診断・治療が可能となります。どうか若き研修医の皆様の情熱とアイデアを、新たな出発を迎える当院に傾注していただければ幸いに存じます。



お申込み・お問い合わせ

- 照会窓口：事務部 庶務班長
- 担当医師：副院長 鈴木 栄
- T E L：0246-88-7101
- E - m a i l：suzuki.sakae.wb@mail.hosp.go.jp
- 病院見学：随時受付

トピックス

研究会風景

